



## 特別ワークショップ 【終了しました】

科学技術分野の報道内容を検証する方法について、ヒントを提示したい。米メリーランド大所蔵のプランゲ文庫は、占領期日本の雑誌、新聞、書籍等のメディアの貴重な宝庫である。既に雑誌については山本武利によってデータベース化がなされ、新聞のデータベース化についても計画されている。プランゲ文庫およびそのデータベースを使うことで、占領期における様々な分野の言説をつぶさに検証することが可能となった。本学で入手したプランゲ文庫の新聞マイクロ版を用いて、占領期の科学技術分野における報道の実態を紹介する。

2006年1月20日(金)

18:30-20:00	山本武利 谷川建司	プランゲ文庫を利用した占領期科学技術報道検証の可能性
-------------	--------------	----------------------------

場所: [西早稲田キャンパス](#)1号館401号室

対象: 2006年4月より本プログラムで学習を開始される方  
科学技術報道の検証に関心のある方

費用: 無料



## シンポジウム

サイエンス・コミュニケーション —科学技術と社会の共生を目指して— 【終了しました】

2000年度のノーベル化学賞を受賞された白川英樹・筑波大学名誉教授、高橋真理子・朝日新聞科学医療部次長、渡部潤一・国立天文台助教授をお招きしシンポジウムを開催します。

日時: 2005年11月2日(水) 13:00~16:00

会場: 早稲田大学 [小野記念講堂](#)

対象: 科学技術ジャーナリズムに関心のある方などなたでもご参加頂けます

費用: 無料

[ビデオ映像](#)



## セミナー

### サイエンスコミュニケーション —その手法—【終了しました】

サイエンスコミュニケーションの手法に注目したセミナーを二夜にわたって実施します。第一夜の講師は、本学政治経済学部の小西和久教授です。国境を越えて情報を発信するジャーナリストにとって、英文作成能力は必須能力。豊富な実務経験に裏打ちされた実践的な英文テクニカル・ライティングの講義です。第二夜の担当は、サイエンス・ライターの青山聖子氏と、本プログラム客員教授の西村吉雄教授です。科学技術を伝えることの難しさ、その際に心がけるべきポイントなど、コミュニケーションの現場に密着した話題が展開されます。

**第一夜 11/11(金)**

18:00-19:30	小西教授	英文テクニカル・ライティング — 科学技術関連報道の日英翻訳プロセス(前半)
19:40-21:10	小西教授	英文テクニカル・ライティング — 科学技術関連報道の日英翻訳プロセス(後半)

科学技術関連のニュースであろうと論文であろうと、簡潔・明瞭な英文を作成するためには幾つかのライティング・テクニックを習得する必要がある。本セミナーでは、科学技術ニュースの日英翻訳プロセスの実例を紹介し、どのようなライティング・テクニックが用いられているかについて考察する。

**第二夜 11/18(金)**

18:00-19:30	青山氏	科学コミュニケーションの5W1H
19:40-21:10	西村教授	「専門的であること」と「わかりやすさ」のバランス

科学コミュニケーション論の導入として、科学コミュニケーションは「なぜ必要か」、「いつ、どこで、だれが行うのか」、「なにを、どのように伝えるのか」について、データや具体例を交えつつ講義する。

専門用語を使わないとわかりやすい、とされることがよくある。科学技術関係の文章の際、特にそう言われる。私はそう思わない。読者対象によって、あるいは媒体の性格に応じて、わかりやすさを実現するための用語表現は変わる。このあたりを実例に則して論じたい。

場所: [西早稲田キャンパス](#) 1号館 401 教室

対象: 科学技術ジャーナリズムに関心のある方。

費用: 無料



## ワークショップ

### 科学技術と社会【終了しました】

科学技術と社会との関連性に注目し、医療、情報、食、環境、生命科学、メディア等の分野で活躍する8人の講師を迎え、さまざまなテーマについてオムニバス形式で実施します。少人数でのゼミ形式の授業で、意見交換の時間を長く設定しています。

第1回 10/29(土)		
13:00-14:30	瀬川氏	科学ジャーナリストはなぜ必要か — 食の安全をめぐる報道から
14:40-16:10	長谷川氏	科学の考えと文明の行方
第2回 11/12(土)		
13:00-14:30	馬場氏	科学記事の2つの顔 — 分かり易さと正確性をめぐって
14:40-16:10	谷川氏	戦後サブカルチャー表象にみる科学技術への批判的視点 — アトム、HAL9000、ウルトラマン
第3回 11/19(土)		
13:00-14:30	小林氏	科学技術の社会的編制 (social configuration) について考える — 科学技術ジャーナリズムの視点とはどのようなものか
14:40-16:10	佐藤氏	社会のなかの科学を伝える — 環境と地域の視点で
第4回 11/26(土)		
13:00-14:30	若杉氏	エイズから見えてくる社会 — たとえばエイズを報道するとき
14:40-16:10	西村氏	マイクロプロセッサ事始め

場所: [西早稲田キャンパス](#)3号館2階第3会議室

対象: 講義のテーマに関心がある方

費用: 無料